

1 歴史博物館の重点目標

- (1) 文化財・伝統文化を「活かして守る」施設としての機能の充実
- (2) 学校教育及び社会教育における学習機会の提供と継承者の育成

2 歴史博物館の重点的取組

- (1) 文化財・伝統文化を「活かして守る」施設としての機能の充実
 - ①文化財・伝統文化の魅力を伝え、新たな価値を創造する各種展示の充実
 - 博物館および大分県の魅力を伝える展示の開催
 - 収蔵品を利活用した展示の充実
 - 地域の文化財・伝統文化の「キーステーション」及び「ハブステーション」の役割をふまえた各種事業の実施・計画
 - ② デジタルを活用した文化財・伝統文化の情報発信の推進
 - 「デジタルを活用した文化財保存・活用推進事業」による美術工芸品や古墳の3D化。
 - プロジェクトマップやバーチャル・ミュージアム等のデジタルの利用
 - SNS等による情報発信の強化
 - ③ 宇佐国東歴史文化魅力発信事業の推進
 - 宇佐神宮開創1300年記念展示の開催（令和7年1月24日～3月2日）
 - 「宇佐国東情報発信シアター」の整備
- (2) 学校教育及び社会教育における学習機会の提供と継承者の育成
 - ① 小・中学校・高等学校・特別支援学校への訪問講座、来館講座の推進
 - 訪問講座のテーマや方法の開発
 - 地域の魅力・博物館の魅力を伝える講座の開催
 - ② 教育機関と連携し、文化財に接する機会とコンテンツの充実
 - 「デジタルを活用した文化財保存・活用推進事業」の一環として、宇佐産業科学高校と連携し、宇佐神宮の呉橋の擬宝珠の3D復元と特別支援学校等での出張展示

3 個別事業の概要

1 展示事業

近年の生活環境の変容や本県を取り巻く社会状況等を踏まえ、広く県民の歴史や文化についての理解を深め、学びの場である歴史博物館としての機能を強化する。そのため次の事業を行う。

- ① 平常展は、人々のくらしと祈りを中心テーマとして、文化財の新たな魅力を紹介する。また、宇佐神宮創建1300年や国史跡の指定答申を受けた六郷山に関する展示を実施する。
- ② 特別展は、「大分野球ー栄冠が大分に輝いたときー」を開催し、大分県における野球の歴史をふり返り、県内野球チームや県内出身野球選手の活躍、いわば大分の野球において「栄冠が輝いたとき」を紹介する。
- ③ 企画展は、大分県立美術館との協働による「OPAM 地域美術館 at 大分県立歴史博物館 博物館で”美”の探求 大分県立美術館コレクション」をはじめ、当館の調査・研究の成果等を反映した「れきはくコレクション2024」、「宇佐神宮創建1300年記念 八幡信仰の至宝」を開催する。
- ④ 館外展示として、県内外の公立文化施設や県立学校等において出張展示を実施する。

2 教育普及事業

調査研究事業の成果を踏まえ、学校教育や社会教育に対応した多様な講座等を行う。

- ① 展示事業における各種講座等の充実
- ② 歴史文化講座の実施
- ③ 来館講座・訪問講座などの各種講座や体験学習の実施
- ④ 研究紀要・館報・年報の発行及びホームページ等による情報提供の推進
- ⑤ 歴史博物館ボランティアの育成・活用

3 調査研究事業

調査・研究センターとして、東九州の歴史と文化を体系的に解明するため、次の事業を行う。

- ① 国史跡である川部高森古墳群を3Dレーザー測量により実測し、将来の活用・整備に資する「風土記の丘測量調査」の実施
- ② 地域に残る文化財の保全に向けた所在確認調査を行う「大分県歴史資料調査」の実施
- ③ 地域文化の独自性と豊かさを解明するための「大分県仏教美術調査」の実施
- ④ その他、県内の各種文化財等の所在確認・調査研究・記録保存の実施

4 文化財保存事業

各種文化財を後世に伝えるため、県内唯一の保存科学部門をもつ施設として文化財保全の役割を担うとともに、文化財保存・文化財科学における調査・研究をすすめて、得られた成果を展示等の各事業に活用する。

- ① 県内各遺跡出土遺物の保存処理と科学的調査

- ② 各種文化財に関する科学的な分析と保存技術の開発
- ③ 県下各地における文化財の保存管理及びその活用についての指導・助言
- ④ 災害時における文化財保存の協力
- ⑤ 文化財資料の予防保存

5 資料収集事業

有形・無形を問わず、各種文化財を確実に後世に遺し伝えていくため、その調査・収集・保全を積極的に行い、収蔵品の充実に努める。

- ① おおいたの歴史と文化の解明に資する各種文化財の収集・保全
- ② 劣化・消滅の危機にある各種文化財の複製製作・模型製作・模写・修復
- ③ 無形民俗文化財や景観のデジタル画像化

6 史跡公園「宇佐風土記の丘」整備事業

昭和55年に史跡指定された「川部・高森古墳群」を中核とする「宇佐風土記の丘」は、平成7年に第1次の調査・整備事業が終了し、20年以上にわたって県立史跡公園として親しまれてきた。

しかし、施設・設備の老朽化や未整備古墳の植生の繁茂などにより、史跡公園本来の利用のされ方が十分でない箇所もある。そのため、第2次調査・整備計画を早急にまとめ、史跡公園の有効利用を図る必要がある。文化財保護法改正をうけた県の大綱や宇佐市の地域計画に基づく整備・活用の推進を図る。

- ① 緊急性の高い補修、保全の実施
- ② 史跡の活用についての調査・研究

7 他機関との連携

県立の施設である先哲史料館、埋蔵文化財センター、美術館、青少年の家とも広報や展示などで連携し、相互の利用促進をはかる。さらに、宇佐国東地域の市町村教育委員会・資料館・博物館などとも連携し、「宇佐国東」の歴史文化に対する理解を深めるための取り組みを行う。

- ① 資料の相互活用の推進
- ② 3施設(先哲・埋文・歴博)+OPAMとの連携の推進

8 誘客活動

博物館入館者の増加を図るために、様々な誘客活動を実施する。「プロジェクションマッピング」、「AR風土記の丘」、「バーチャルミュージアム」を中心として、効果的な情報発信を行う。

また、小・中・高等学校、旅行者等への広報活動も広く実施し、団体客の増加を図る。

- ① 「プロジェクションマッピング」「AR風土記の丘」「バーチャルミュージアム」等の広報活動の推進
- ② 県内外旅行者への広報活動の推進
- ③ インスタグラム・フェイスブック等SNS等を活用した情報発信

令和6年度 大分県立歴史博物館事業計画

	事業名	事業概要	備考
展示事業	(1) 平常展	人々の暮らしと祈りをテーマに、おおいたの歴史や文化の魅力を紹介する。 [特集展示] 平常展の一角で、例年4回ほどのミニ企画展を開催する。	令和6年 4月1日(月) ～ 令和7年 3月31日(月)
	(2) 企画展 「OPAM 地域美術館 at 大分県立歴史博物館 博物館で”美の探求 大分県立美術館コレクション」	大分県立美術館が所蔵する多様な収蔵作品を県内各地域で展示するOPAM地域美術館を当館で開催。本展では、県北地域にゆかりの作家や作品を紹介し、地域の芸術に触れる機会を提供する。また、歴史博物館所蔵の作品とのコラボレーションした展示も行う。	令和6年 4月26日(金) ～ 令和6年 6月9日(日)
	(3) 企画展 「れきはくコレクション2024」	大分県立歴史博物館が所蔵する重要文化財「大分県免ヶ平古墳出土品」の保存修理事業が、令和5度末に完了した。この事業の完了を記念し、保存修理の成果を披露するとともに、大切な文化財を後世に伝えていくことを改めて考える機会となるよう企画展を開催する。あわせて、歴史・考古・民俗などの各分野から、当館自慢のコレクションを広く紹介する。	令和6年 7月5日(金) ～ 令和6年 9月16日(月)
	(4) 特別展 「大分野球ー栄冠が大分に輝いたときー」	日本における野球の発祥や発展などにもふれつつ、おもに大分県における野球の歴史をふり返る。県内野球部や県内出身野球選手の活躍、いわば大分の野球において「栄冠が輝いたとき」を紹介する。これまでなかった内容の展覧会を企画・開催することにより、大分県の魅力に対する新たな視点を創出する。	令和6年 10月18日(金) ～ 令和6年 12月1日(日)
	(5) 企画展 「宇佐神宮創建 1300年記念 八幡信仰の至宝」	令和7年(2025年)は、小椋山に八幡神が御鎮座されてから1300年目にあたり、また、秋には十年に一度の勅祭が執り行われるなど、宇佐神宮や大分県にとって記念すべき年である。本展では、八幡信仰がこれまでの歴史の中で強く関わってきた朝廷や武士そして民衆との関わりを地域の残る資料から俯瞰し紹介する。	令和7年 1月24日(金) ～ 令和7年 3月2日(日)
	(6) 出張展示	館の収蔵品等、大分県の歴史と文化にゆかりのある文化財を県内外の公立施設や学校において紹介する。	通年
	(7) AR 風土記の丘	川部・高森古墳群内の前方後円墳の構造や出土品を、三次元コンピューター・グラフィックスなどによって再現する。	通年 タブレット端末貸出
	(8) プロジェクションマッピング	熊野磨崖仏及び富貴寺大堂のふたつの実物大模型に、プロジェクションマッピングによる映像を投影し、展示品の魅力やその歴史的背景を解説する。	通年
	(9) バーチャルミュージアム	歴史博物館や宇佐風土記の丘を、実際に訪れなくてもウェブサイトで疑似体験できる。	通年

	事業名	事業概要	備考
教育普及事業	(1) 来館講座	小・中・高等学校や一般団体の要望に応じて、体験学習や展示解説、歴史教室等を行う。	随時 (要事前申込)
	(2) 訪問講座	当館の学芸員が小・中・高等学校や一般団体等を訪問し、郷土の歴史や文化について講座を行う。	随時 (要事前申込)
	(3) 博物館ボランティアの育成・活用	博物館が行う諸事業に県民が主体的に参加することで、地域に開かれ、親しみやすい博物館を目指し、ボランティア活動の受入れと育成を行う。観覧者への解説補助や各種事業の業務補助などに従事してもらう。	随時
	(4) 広報・研究誌の発行	研究紀要・館報・報告書・年報等を刊行し、当館の諸事業や活動状況、県内の歴史・文化財に関する情報を幅広く県民に紹介する。	随時
	事業名	事業概要	備考
調査研究事業	(1) 風土記の丘測量調査	国史跡である川部高森古墳群を3Dレーザー測量により実測し、将来の活用・整備に資する。	令和2年度 ～6年度 (国庫補助)
	(2) 大分県歴史資料調査	大分県の歴史と文化を解明する上で基礎となる資料の所在確認と記録化を行う。	通年
	(3) 大分県仏教美術調査	豊かな仏教遺産がのこる大分県内の寺社等が所蔵する所在確認と現状記録を行う。	通年
保存修復	県内出土遺物の保存処理	県内各遺跡から出土した金属製遺物や木製遺物などの科学的な保存処理を行うとともに、発掘遺構や出土遺物の保存について、県下の文化財保存管理者に助言を行う。	通年 (国庫補助)
資料収集	資料収集	大分県の歴史と文化を示す各種資料について、展示や調査活動に活用するため、寄贈や寄託等により受け入れを行う。	随時